

☆ 南多摩保健所医療安全支援センター研修会を開催しました

11月28日（水曜日）と12月6日（木曜日）、南多摩保健所では、圏域（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）の医療機関及び関係機関職員向けに南多摩保健所医療安全支援センター研修会を開催しました。

1日目には、公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院院長の磯部光章氏を講師に迎え、医療機関の窓口担当者を対象に「なぜ医療者の話は患者に伝わらないのか？～より良い医療を提供するための、患者と医療者の相互理解の方法～」と題して御講義いただきました。実習では参加者全員が講師の出題に従って絵を描き、同じ課題を出題されても一人一人が違う内容の思い浮かべるということを実感しました。参加者からは「医療者と患者との間でのミスコミュニケーションがなぜ起こるのかわかりやすく聞けた。」「伝わる、わかる言葉で説明できているかを常に気に留めなければならないと改めて思った。」といった声が多数寄せられました。



一日目の研修の様子

2日目は、元国際線パイロットで現在は産業安全の分野で活躍されている株式会社マネジメント研究所所長の石橋明氏を講師に迎え、医療機関の安全推進担当者を対象に「産業安全の専門家と共に考える、医療現場のチーム力育成の秘訣」と題して研修会を実施しました。「間違える」という人間の特性を踏まえた上で、個人ではなくチームで現場の課題を解決する方法について、講義や実習を通して参加者各自が考える機会となりました。参加者からは「間違えることが悪いのではなく環境を整えることが大事だとわかった。」「事故防止のための具体的な対策についての学びを深めることが出来たので、今後現場でいかしていきたい。」といった声が聞かれ、医療者のチーム力向上のきっかけとなりました。



二日目の研修の様子

南多摩保健所では、今後も医療機関が医療安全に関する知識や技術を習得できる機会を設け、医療者の資質の向上を支援していきます。

【南多摩保健所】